

私の夢を実現するために



(写真)ワールド・リーダーズ・セミナーで学ぶ参加生の姿

目次

ワールド・リーダーズ・セミナー報告	p.2～3
ホノルルオンライン平和学習	
「戦争と未来を考える」 新潟大学附属長岡中学校	p.4
「これからも平和であり続けるために」 南中学校	p.4
「平和の恵みを心から感謝して」 表町小学校	p.5
ホストファミリー研修会／新規ホストファミリー大募集!	p.6

エドウィン・ホーキンスさん来岡	p.7
ロマンモティエ・エンヴィー村のフェアで長岡市を紹介	p.7
地球広場からのお知らせ	p.8～9
新潟県国際教育理解プレゼンテーションコンテストで審査員奨励賞を受賞	p.10
第18回姉妹都市交流の絆 国際交流のつどいのお知らせ	p.10
世界の小話／編集後記	p.12

プログラム概要

今年度のワールド・リーダーズ・セミナーでは、18名の中学生・高校生が集い、国際協力の舞台で活躍された方々からのお話を聞き、東京の国際機関を訪問しました。このプログラムを通じ、「世界」を舞台に働くとはどういうことかについて考えました。

1日目 2022年11月19日(土)

「世界」を舞台に活躍したい皆さんへのアドバイス

・石積 勝先生(国連元職員)の講話 ・加藤 宏先生(JICA元理事)の講話 ・羽賀 友信先生(長岡市国際交流センター長)の講話



国際的に活躍するための「3つの(Critical Thinking, Creativity, Communication)」について教えていただきました。



今までの国際協力とこれからの国際協力の違いなどについて教えていただきました。



「国際交流」、「国際協力」、「多文化共生」のつながりについて教えていただきました。

1日目の感想

国際的に活躍するために、まずは「この人に会えてよかった」と思ってもらえることが第一歩であり、そのためには自分自身や自分が育ったところについて誇りを持つことが大切だと分かりました。また全ての講話で「国際交流」や「国際協力」は特別なことではなく、国連やJICAで働くことだけが「国際協力」であるというわけではなく、ほかにたくさんの方があるということを知りました。(水島葉那さん)

2日目 2022年12月18日(日)

「ウクライナの人を助けたい」原信の想い

原 和彦理事長(アクシアルリテイリング株式会社代表取締役社長)の講話

2日目の感想

・企業として地域の方々のおかげで成長できたから恩返しをする、災害復興でたくさん助けていただいたから皆さんに恩返しをするという姿勢がかっこいいと思いました。(油谷こころさん)
・自分の地域について知り、周囲の助けてくれた人々や地域に感謝すること、その感謝を形にすることの大切さを知りました。(山田真緒さん)



原理事長からは「なぜ社会貢献が必要なのか」「恩返しと「恩送り」について教えていただきました。

3日目 2022年12月27日(火)

JICA地球ひろば訪問

ポーランドでの国際協力の経験をお持ちの佐藤さんのガイドで展示を見学し、世界の問題や各国のSDGsの達成状況について学びました。



国連UNHCR協会訪問

職員の天沼さんとの対話を通じ、天沼さんの具体的な仕事や難しさ、世界の難民問題についての理解を深めました。

佐藤さんに「貧困は連鎖する」と教えていただきました。「お金がないから、子どもは働かために学校へ行けない。大人になってもいい職に就けず、貧しいまま家族を持つ。その子どもも同じように学校に行けない。その連鎖を断ち切らねばならない」という言葉に参加生は頷きます。



“ファンドレイザー”として難民支援のための資金調達をされている天沼さんから「集まった支援のうち8～9割は個人の方からの寄付」ということを聞き、難民支援は“自分ごと”として考え、行動に移すべきだということになりました。

このプログラムを通じて学んだことや気づき

さいき りお
齋喜 璃音さん 中学3年生

プログラムに参加する前は「学生だから」まだ何もできないだろう」と思っていたのですが、このセミナーに参加して「学生だからこそ」できることがある」と知ることができました。「知れてよかった」で終わらず、何ができるかを考えて「やってみる」ところまで動きたいです。

にしわき
西脇 あかりさん 中学3年生

プログラムに参加する前は、あらゆる問題に対し「私がやったって」と思っていました。しかしプログラムでの講師の皆さんや仲間との「出会い」を通じ、「私がやったって」という考えは周りのせいにする言い訳だと気づき、「自分がちょこっと踏み出す勇気を持てばいい」「小さな一歩を積み重ねよう」と考えることができるようになりました。

かたの よしか
片野 佳香さん 高校2年生

国際社会で人の役に立つためには、語学だけではなく、「答えのない問題と向き合う力や想いを人に伝える力」が必要だと感じました。

いしだ けいしろう
石田 啓士郎さん 中学1年生

羽賀センター長の「授業はみんなでつくるもの」という言葉を聞き、普段の学校の授業でも自分の意見をしっかりと相手に伝えて、しっかり授業に参加していきたいです。

しぶや そら
澁谷 空さん 高校1年生

私たちが「当たり前」だと思っている清潔な水へのアクセスなどは、実はあたりまえではないことに気づきました。私たちのあたりまえを分け合って、世界中の人に笑顔があふれるように生きていきたいと思いました。



JICA地球ひろばでは1日目講師の加藤先生に再度お会いすることができました。



3回のプログラムでたくさん質問をしたり、自分の意見を伝えたりする練習もしました。



JICA地球ひろばにて

いいくらし、いいあした。

原信 ナルス

お店まで、徒歩0分。

原信ネットスーパー

スマホでカンタンお買い物。おうちでラクラク受け取り。

新規会員募集中!

スマホはこちらから!

「戦争と未来を考える」

10月18日(火)、新潟大学附属長岡中学校の2年生(3クラス112名)が、戦争と平和について理解を深めようとオンラインで学習しました。アメリカ空軍での勤務経験があるエドウィン・ホーキンスさんがご自身の経験を踏まえ戦争の悲惨さを伝え、平和の恵みと代償について、一緒に考えました。

生徒からの「ホーキンスさんが理想とする世界の平和の姿とはなんですか?」という質問に、「理想は戦争がなく、戦争が始まるおそれがない世界。平和を実現するためには多様な人の気持ちを受け入れ、二度と悲しい過去に逆戻りしない関係を構築することが大切」と話していました。

生徒の感想より

- 周りに流されず自分の考えを持って、自分で判断し発言することが、平和な世界につながると思いました。
- 自分に戦争は止められないと思っていたが、戦争を無くすために行動できるのは私たち若い世代の人だ。世界に目を向け、文化の違う人たちと平和について話していきたい。
- 戦争や憎しみを無くすことは、世界全体で見ると大きくて分かりづらいが、まずは身近な相手を受け入れ、お互いに理解していきたい。

新潟大学附属長岡中学校



ハワイのクイズでアイスブレイク



ホーキンスさんに英語で質問



問いかけを受けてグループで話し合い

「これからも平和であり続けるために」

長岡市立南中学校

11月10日(木)、長岡市立南中学校の2年生(5クラス139名)と、ホノルルのミリラニ中学校の生徒(18名)が、長岡市国際親善名誉市民であるエドウィン・ホーキンスさんから講話を聴いた後、平和について意見交換しました。南中学校とミリラニ中学校との交流は、今年で3年目(3回目)となりました。お互いの国や、市についてのクイズで和やかに始まりました。

ホーキンスさんより、「山本五十六という人は、長岡の人は皆好きかもしれないが、彼が当時の政権の言うとおりに実施した作戦には多大なる犠牲が伴っていたことを知ることや、彼がそのような決断をしなければいけないような状況を作らないために、皆が声を上げ、良いリーダーを選ぶことが大事だ」などとお話いただき、長岡の中学生にとって新鮮な内容であり、とても有意義な交流になりました。



ホーキンスさんのお話を真剣に聞く皆さん



長岡クイズに答えるミリラニ中学校の生徒

「平和の恵みを心から感謝して」

長岡市立表町小学校

真珠湾攻撃があった前日の12日7日(水)、長岡市立表町小学校6年生(34名)が、ホノルル・アヌエヌ工学園(24名)の児童とオンラインで交流しました。小学生同士の平和交流は初めてです。

楽しいクイズの後、お互いの活動について発表しました。アヌエヌ工学園は「オリ」というハワイの伝統的な祈りを演唱した後、「虹・雨・愛」をフラで表現してくれました。表町小からは、長岡空襲の被害や復興と長岡花火といった平和学習の取り組みを児童一人ひとりが英語で伝え、日々の学習の成果を発揮しました。ハワイでは冬でも海で泳げることに驚いたり、ラップは好き?など質問されると、目を輝かせて嬉しそうに答えていました。

続いて、長岡市国際親善名誉市民のエドウィン・ホーキンスさんより、「当たり前ではない幸せ」や「平和を守るために必要なこと」についてお話があり、子どもたちは「毎日の平和の恵みに感謝し、相手の立場や気持ちを考えることが大切」だと学んでいました。

表町小児童からの「ロシアのウクライナ侵攻についてどう思うか」という質問に、ホーキンスさんは「自分の考えと違う人を憎み差別するのではなく、アメリカと日本のように和解の力を持ち共に歩まなければならない。」と話していました。

児童の感想より

- 価値観が違う、いくら頑固な人でも、喧嘩になっても、時間が経っても、話し合えばいいと思います。分かり合うことをやめなければ、絶対私は理解し合えると思います。
- 当たり前ではないことを、当たり前と思い込んでいた。服、食事、友達と普通に話せて普通に遊べる。私たちは恵まれて過ごしている。戦争と平等じゃない世界を変えたい。
- 大事なことは責任を持ち、自分の意見を出すこと。違う文化を理解して行動する。アヌエヌ工学園の校長先生が顔に入れ墨をしていた。怖いと思わずどうしてだろう?と考えて、そういう特別な文化だと知って、尊重する方が良いと思う。



アヌエヌ工学園の子どもたち



雨の動きで自然を敬います



お互いの発表に感想を伝えます



ホーキンスさんからの問いを真剣に考えます



アヌエヌ工学園はハワイ語で「虹」



感動のそばに、いつも。

人をつなぐ、笑顔をつなぐ。

JTBは地球を舞台に、

あらゆる交流を創造し続けます。



0258-35-3315

JTB長岡支店

長岡市東坂之上町2-1-1 ファース長岡ビル11階 〒940-0066

外国からのゲストにウケる日本料理を紹介！ ホストファミリー研修会 新規登録ファミリー也大募集！

「ホストファミリーに興味はあるけど、ゲストに喜んでもらえる食事が出せるかな？」

そのような不安や疑問を解決するため「ホストファミリー研修会」を開催します。研修会では、ホストファミリーの悩みの一つである「食事」の不安を解消するために、外国人が好きな日本料理のレシピの紹介やランチの試食会（解説付）、懇親会を行います。

既に登録されているホストファミリーの皆様だけでなく、この機会にホストファミリー登録して下さる皆様のご参加をお待ちしております。

●日 時	令和5年3月18日（土） 午前11時～午後1時30分	●参 加 費	各家庭2人まで1人 500円 3人目から1人 2,000円 （ランチボックス、食後ドリンク付き）	
●会 場	長岡グランドホテル 蒼柴の間	●申込期間	令和5年1月27日（金）～ 令和5年3月3日（金）	
●講 師	長岡グランドホテル 野元真善氏	●申込方法	Googleフォームもしくは電話にて	
●対 象	当協会登録ホストファミリー （2023年3月3日時点） 先着30名		お申し込みはこちら	

ホストファミリー大募集！

当協会では、アメリカ合衆国（フォートワース市、ホノルル市）やドイツ（トリアー市）といった姉妹都市からのゲストの「ホームステイ」を受け入れていただくホストファミリーを募集しています。

海外のゲストと英語でコミュニケーションをとり、異なる文化を肌で感じることは、心に残る大切な思い出になるでしょう。

興味のある方は、当協会窓口にお越しいただくか、ホームページをご覧ください。

（窓口受付時間：
平日8:30～17:15まで）



ゲストと対面する前のドキドキタイム



ひとつ同じ屋根の下で過ごした「第三の家族」とのお別れでは、「再会」を約束します

募集期間

令和5年2月28日（火）まで

エドウィン・ホーキンスさん来岡

9月下旬、長岡市国際親善名誉市民のエドウィン・ホーキンスさんが長岡を訪問されました。滞在中に訪れた長岡造形大学では、2014年に日米友好の象徴として米国から寄贈され、市民の皆さんが植樹したハナミズキを見学しました。そのうちの1本はホーキンスさん自身が植樹したもので、大きく成長したハナミズキの様子にとっても喜ばれていました。

そのほか、摂田屋で古くから続く醸造文化に触れたり、道の駅ながおか花火館では、シアターで大迫力の長岡花火を観覧するなど、久しぶりの長岡を楽しめました。

また、長岡市とホノルル市の今後の交流事業について話し合い、ホーキンスさんから様々なアイデアを頂くことができました。今後のホノルル姉妹都市交流事業にどうぞご期待ください！



ホーキンスさんが植樹したハナミズキ



摂田屋の鏝絵を見学

スイスで最も美しい街のひとつ

ロマンモティエ・エンヴィー村の フェアで長岡市を紹介

長岡市の姉妹都市で、中世の街並みが残るスイス連邦の小さな町「ロマンモティエ・エンヴィー村」では、毎年秋に“Les Sonnaillies（レ・ソナイユ）”という大きなイベントが開催されます。この時期は約500人の町に、カウベル愛好家など15,000人ももの来場者で賑わい、村は活気にあふれます。

今年は、村の方々のご協力により、イベントホールに「長岡ブース」を設置していただきました。来場された皆さんに長岡の写真やグッズをご覧いただき、花火や錦鯉、伝統野菜といった長岡市の魅力をたっぷり伝えることができました。



来場者の方々に「長岡ブース」もお楽しみいただけたようです。



長岡の写真やチラシなどを展示いただいた「長岡ブース」。



イベントの様子。立派なカウベルをつけて下山してきた牛の行進に注目が集まります。

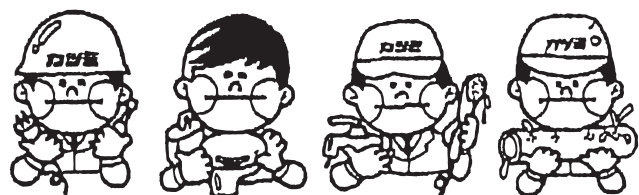


大人もお揃いの民族衣装を着て、真剣な表情でアルプスホルンを弾いています。

KATSUMI

東北電力指定工事店・長岡市指定排水工事店
長岡市水道局指定店・長岡市盤井協会会員

有限会社 カツミ商会



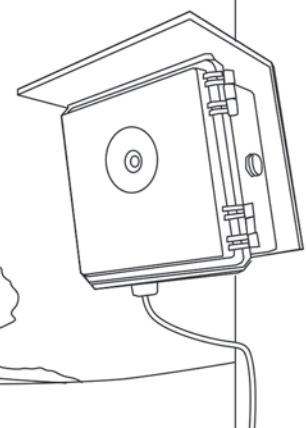
〒940-0864 新潟県長岡市川崎5丁目2438番地5
電話 32-8303 番 FAX 32-8157 番

災害に負けない暮らしを
どこでも、いつでも見守ります。

クラウド型
防災監視カメラシステム **eT001s**
Remote location monitoring system

ETRUST
株式会社イートラスト

http://etrust.ne.jp/
〒940-0871 新潟県長岡市北陽1丁目53番地54
TEL 0258-21-2500(代) FAX 0258-21-2540





ぶらり地球旅行「悠久の大地 中国」を開催しました！

10月15日(土)に、中国出身の程(テイ)さんが、母国の文化などを紹介しました。中国の地理、食文化、おもしろい特徴や風習などを、クイズを織り交ぜながら紹介し、いろんな種類の水餃子の作り方を動画で詳しく説明してくれました。

その後、ミニ中国語講座を行い、中国語の発音・簡単な挨拶や、日本語と中国語の漢字の違いを教えてくださいました。参加者からは「日本とは違う色々な文化に触れて楽しかった」「中国語を学べて嬉しかった」「とても良かったのでまた開催して下さい」など、様々な声をいただきました。程さん、素晴らしいお話をありがとうございました！



母国の文化を紹介する程さん



興味深く聴く皆さん



マエさんと参加者でフリートーク



最後にみんなでパチリ

ほうかご国際文化部 毎月開催中！

ほうかご国際文化部は、毎月いろいろな国の留学生が講師となり、市内の中高生とやさしい英語を使って交流する、異文化理解プログラムです。今年の6月からスタートし、月に1回開催しています。

第5回目となる10月の講師は、アフリカのコートジボワール出身のマエさん。コートジボワールは同じ国の中にたくさんの民族と言語がありますが、公用語のフランス語で皆さんとコミュニケーションがとれるそうです。「日本全国どこでも話されている言葉は日本語」という私たちには驚くような文化ですね。世界にはいろいろな文化や価値観があることを実感できるプログラムです。皆さんのご参加をお待ちしています。



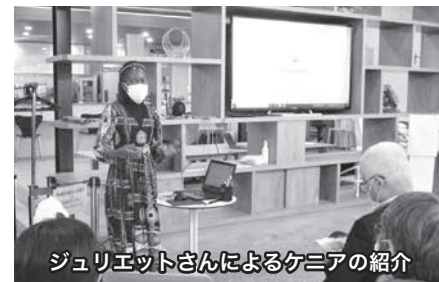
詳しくはこちら

World Cafe ～世界の茶の間～

12月10日(土)ワールドカフェを開催しました。タニタカフェ会場ではケニア出身のジュリエットさんによる講演、地球広場会場ではモザンビーク出身のマビアさんに講演をしていただき、21名の市民の皆さんが参加しました。

ジュリエットさんはきれいな民族衣装を着て登場し、アクセサリなどの実物を見せながら、ケニアの人々が行うセレモニーや習慣などについて紹介してくれました。マビアさんは、モザンビークの踊りやスポーツ、産業についての話など、参加者からの質問に丁寧に答え、対話をしながら紹介してくれました。

ジュリエットさん、マビアさん、素晴らしいお話をありがとうございました。



ジュリエットさんによるケニアの紹介



マビアさんによるモザンビークの紹介

「にほんご広場」を紹介します

にほんご広場は「日本語学習による交流」を通して、参加者の「顔の見える関係づくり」を目的として活動しています。週2回(金曜・日曜)ボランティアが学習者のレベルに応じて、ひらがな・カタカナ・漢字・日常会話などの習得をサポートしています。

9月には、学習者とボランティアが「私の好きなこと」をテーマに発表を行いました。一緒に協力して原稿を作ったり、発表の練習をしたりして本番に臨みました。実際に特技を披露したり、互いに質問をしたり、いつもとは一味違った楽しい会になりました。参加者同士新たな一面を発見でき、互いの理解をより深める機会になったのではないのでしょうか。

私たちは皆で日々工夫をしながら「にほんご広場」を作り上げていきます。詳しく知りたい方は地球広場までお問い合わせください。長岡市国際交流センター「地球広場」 ☎0258-39-2714



普段の学習の様子



9月の発表会

海外進出支援サービス

自社の優れた商品・技術で
海外へ販路を拡大したい！

海外へ進出したいが、
方法が分からない！

どの国に進出すれば
よいか知りたい！

など

その悩み「たいこう」で解決できます。

詳しくは大光銀行の本・支店窓口へお気軽にお問い合わせください。



大光銀行

<http://www.taikobank.jp/>

大光銀行

検索



渡辺ドライ

暮らしの“めんどろ”解決隊

- ・集配外交の宅配クリーニング
- ・草刈り草取り
- ・家具移動手伝い

その他、暮らしの“快適”応援いたします。
ぜひお問い合わせください。

<https://www.wash.co.jp/wd/>

お問い合わせ・ご依頼は



0120-275454

【本社】〒940-2126 新潟県長岡市西津町 3806-1 長岡営業所／新潟営業所／三条営業所

原信presents 輝け! 高校生プログラム参加生が

新潟県国際教育理解プレゼンテーションコンテストで審査員奨励賞を受賞



環境の変化による危機は身近にも迫っています



良いチームワークで発表をまとめました

昨年、今年と2年連続で開催した『原信 presents 輝け! 高校生プログラム』では、世界の問題について考えました。その参加生有志で作られた学生団体『Mirai』のメンバーが、12月17日(土)、新潟市で行われた新潟県国際教育理解プレゼンテーションコンテストに出場しました。

『人間への失望』というタイトルで、「地球温暖化など、今すぐに対応しなければいけない問題が多い中、行動しない人間が多いことに失望している。将来も安心して生活できる地球を作るために、高校生の私たちが行動しよう」と呼びかけました。とても心が動かされる発表で、審査員奨励賞を受賞しました。

「第18回姉妹都市交流の絆 国際交流のつどい」のお知らせ

当協会賛助会員の皆様の親睦を図り、事業に関わった方々へ感謝の意を表すとともに、国際交流と多文化共生の理解の輪を広げることを目的として「国際交流のつどい」を開催いたします。

今回は、姉妹都市ドイツ・トリアー市との交流で長年ご尽力下さっているヨハン・アウバート氏の「長岡市国際親善名誉市民受章祝賀会」および、同市より来岡されるライブ市長の歓迎会も兼ねて実施いたします。シスター・トリアーの皆様による歌の披露も予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時	令和5年2月18日(土) 午後7時~9時
会 場	ホテルニューオータニ長岡 2階 白鳥の間
定 員	100名(先着)
参 加 費	賛助会員 大人7,000円、学生4,000円 非会員 大人8,000円、学生5,000円 * お料理が必要なお子様は学生料金になります。 * 2月11日以降はキャンセル料が発生する場合があります。
申し込み	2月10日(金)までに(公財)長岡市国際交流協会へ Tel: 0258-39-2207 FAX: 0258-39-2280 E-mail: intlexchange@city.nagaoka.lg.jp



前回初来岡時のライブ市長



3年ぶりにアウバートさんをお迎えします

当協会の SNS をご利用ください

(公財)長岡市国際交流協会ではFacebook・Instagramで協会の活動やイベント案内をお届けしております。ぜひご覧ください。みなさんの「いいね」をお待ちしております。



Facebook



Instagram



YouTube

また、当協会のホームページをあわせてよろしくお願いたします。https://www.niea.or.jp/

Follow me!



多様化するニーズに取り組みます

一般社団法人

新潟県環境衛生中央研究所

- 本 所：長岡市新産2丁目12番地7
TEL 0258(46)7151 FAX 0258(46)9851
E-mail: chuken@nehcl.or.jp URL http://www.nehcl.or.jp/
- 新潟事務所：新潟市中央区新光町7番地2
新潟県商工会館1階
TEL 025(283)7773 フリーアクセス 0120-940030

英語は未来へのパスポート

PEEP Lab. こども英会話 ピープラボ

英語で話そう! ピープで始めよう!

ポールエドワーズイングリッシュプログラム
長岡市春日2-3-2 西川ビル2F・3F
TEL/FAX 0258-39-7337
TEL/FAX 0258-36-8765
peep-english.com
peep@peep-english.com

DREAMS COME TRUE

Change Challenge の KUBOSEI 配電盤 制御システム 電気工事 久保誠電気興業株式会社
本社：長岡市北陽 2-14-32
本店：長岡市宝 1-1-1

料亭 かま川本館

0258-33-0638
https://www.kamogawakan.com
info@kamogawakan.com

風土に生きる紙づくり
小国和紙

Papermaking in harmony with the local climate.

小国和紙生産組合 (Oguniwashi Papermaking Studio)
〒949-5341 新潟県長岡市小国町小栗山 145
Tel.0258(41)9770 Fax.0258(41)9771
Web https://oguniwashi.com Mail info@oguniwashi.com

にいがたの今に触れる

NST News タッチ

月・金曜 午後6時9分放送

キャスター 杉本一機

キャスター 松村道子

世界の小話

presented by 地球広場相談員



ペルーは美食大国と呼ばれています。私が JICA 海外協力隊としてペルーに派遣されていた時に様々なペルー料理を楽しみました。

1つ目はタマルと呼ばれるペルー産の白っぽいとうもろこしをすりつぶしてから蒸して作られたものです。肉や卵などの具材が入っています。朝ご飯や軽食として食べる方が多く、露店や喫茶店等で売られています。

2つ目はピスコサワーです。ペルーはピスコと呼ばれる蒸留酒の発祥の地としても知られています。特別な日や誕生日の時は必ずと言っていいほど、ピスコサワーで乾杯します。ピスコと卵白、砂糖とレモンと呼ばれるペルー産のレモン（すだちに近い）をミキサーで混ぜ合わせて作ります。日本だとペルー産のレモンはなかなか手に入らず風味も異なるので、ぜひ現地で飲むことをお勧めします（^^）

今号の担当は
志賀 容子
です。



☆賛助会員 随時募集中☆

グローバルに活躍する
青少年育成のために
ご協力お願いいたします。

賛助会員の皆様にはいつも当協会の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

当協会は皆様のお力添えにより成り立っております。国際交流の活動の輪をさらに広げていくため、多くの皆様からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

賛助会費のお支払いは「ながおか市民センター」1階の当協会窓口で受け付けております。（平日 午前8時30分～午後5時15分）お振込み・自動引き落としサービスもございますので、是非この機会にご検討ください。

会員様には・・・

- ☆交流イベントを優先してご案内
- ☆機関誌「HOWDY」（年3回発行）のお届け
- （注）会員期間は、お支払い時点から3月31日までです。

〈年会費〉（一口）

一般	¥2,000
学生	¥1,500
法人・団体	¥10,000

※個人の一般会費2,000円を超える年会費を納入いただいた方は、税制優遇の対象になります。

〈納入方法〉

- 現金：当協会事務所（ながおか市民センター内1階）窓口にてお支払いいただけます。
- お振込み：第四北越銀行長岡本店営業部 普通 1334684
大光銀行本店営業部 普通 995324
ゆうちょ銀行一八支店 記号 11250 普通 1383771
（振込の際の手数料は自己負担にてお願いいたします。）
- 自動引き落とし：毎年自動的に年会費が引き落としされます。お取引を停止する意思の提示がない限り、引き落としは自動継続となります。引き落とし前に事前通知があります。お申し込みされる方はご連絡ください。



【編集後記】

今年度のワールド・リーダーズ・セミナーでは、国際協力などの分野で活躍する方々から中高生へ向けて激励の言葉をいただきました。「視野を広げて人の役に立ちたい」「世界のどこかで苦しんでいる誰かを救うために行動したい」と語る、夢と希望にあふれる子どもたちの姿は、未来が決して暗いものではないと感じさせてくれます。日本では当たり前前の幸せが、世界では当たり前ではないと学んだ子どもたちは、平和のために将来何をすべきかを真剣に考えています。これからも、子どもたちが夢を実現するためにサポートするプログラムを実施してまいります。

編集・発行 （公財）長岡市国際交流協会 長岡市大手通2-2-6

電話：0258-39-2207 Fax：0258-39-2280 Email：intexchange@city.nagaoka.lg.jp HP：www.niea.or.jp

印刷 北越印刷（株）